

## タイ経済指標斜め読み

(2023年6月版)

ビジネスサポート部  
加藤義人  
kato@mat.co.th

### 1. データ：ビジネス指数】

タイ中央銀行（BOT）は、5月のビジネス景況感指数（BSI）を発表した。

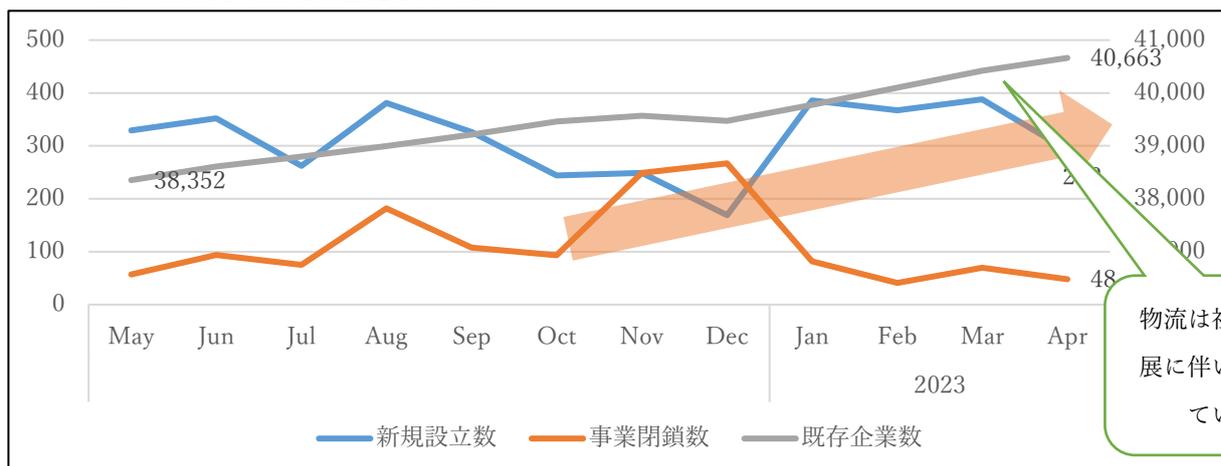


出所：<https://www.bot.or.th/>

5月のBSIは49.7ポイントとなり、前月から下落した。下落の要因として、BOTは観光シーズンが終わったことと、政府の観光支援策が終了したことに起因するとした。一方、3か月後の期待値は54.6ポイントとなり、BSIと同様に前月から下落したが、閾値の50を上回っており、全般的に景気は良くなっていくと感じていると思われる。

### 2. データ：物流事業者数】

タイ商務省所管の貿易政策戦略室（Trade Policy and Strategy Office: TPSO）は、4月の物流事業者数を発表した。

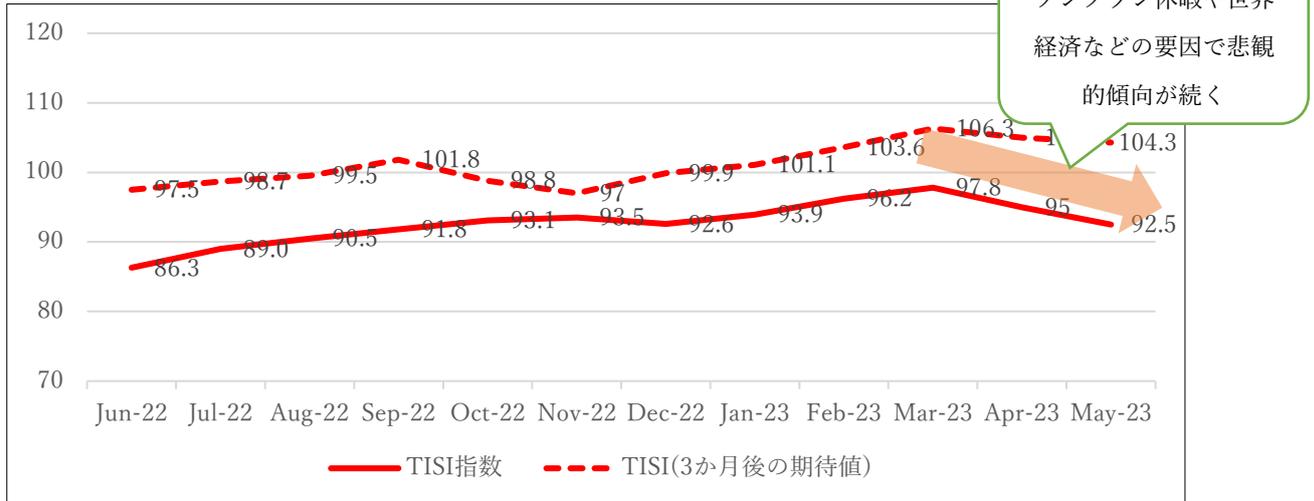


出所：<http://www.tpsoc.moc.go.th/>

4月のタイ国における物流事業者数は40,663件となり、2022年1月以降最大の数値を記録した。新規設立数は292件、事業閉鎖数は48件となった。4月はソクラーンの時期と重なり経済の動きは鈍化したことから登録数ならびに閉鎖数は一様に下がる結果となったが、全体の登録数は増加傾向を続けている。

### 3. 【調査：産業指数】

タイ工業連盟は、5月の産業景況感指数（TISI、100以上好感）を発表した。指数調査は45の業界の1327企業を対象に行われた。

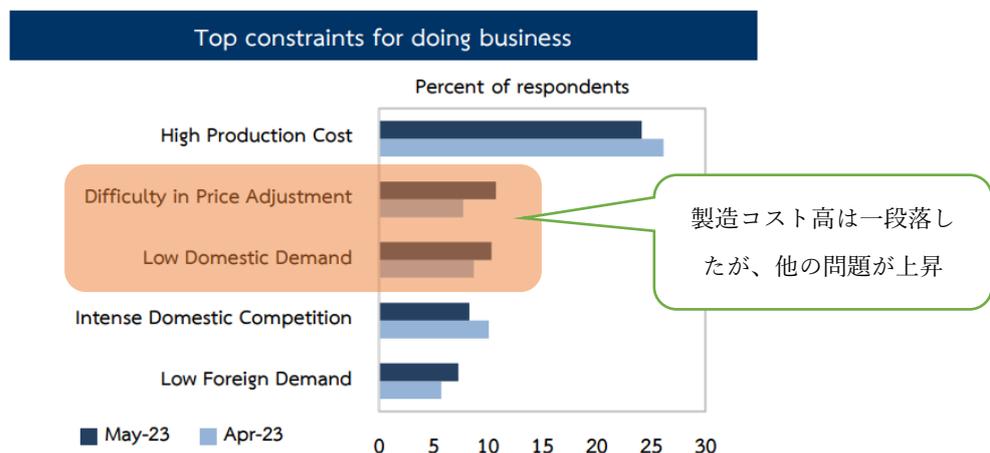


出所：<https://www.fti.or.th/>

5月のTISIは92.5ポイントとなり、2カ月連続で落ち込んだ。要因として、世界経済の落ち込みで輸出業が減少していることや、パーツ高や生産コスト高などを挙げている。3か月後の期待値は104.3ポイントでこちらも2カ月連続の落ち込みとなった。要因として新政権が公約している最低賃金上昇を事業者が嫌気しているとのこと。

### 4. 【調査：経営上の問題点】

タイ中央銀行（BOT）は、BOT会員を対象とした経営上の問題点に関する調査を行った。下記の表は、4月と今回調査（5月）を比較したものとなる。調査は493社の企業を対象に行われた結果となる。



出所：<https://www.bot.or.th/>

5月の調査結果では、引き続き「製造コスト高」がトップとなったが、割合は下落した。一方、「価格調整の難しさ」、「国内需要の減少」と「外需の減少」などの割合が前月から増加した。他には「国内競争の激化」は減少となった。

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し、2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

**2023 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.**

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。